

---

# チャンピオンへの道

スティッチ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

チャンピオンへの道

### 【Nコード】

N1914D

### 【作者名】

ステイチ

### 【あらすじ】

親のために、ボクシングのトーナメントで、苦勞しながら、優勝する

(前書き)

フィクション

俺の名前は、ゴンザレスと言う。

アメリカとオーストラリアのハーフである。

日本に10年前から、住んでいる。

なぜ、来たかと言うと、ボクシングで、チャンピオンになるためだ。毎日練習を、かさねて、特訓を、している。

しかし、トーナメントにでたが、一回戦敗退してしまった。

くらくらして、涙が、止まらなかった。

次のトーナメントまで、1年しかなくて、そのトーナメントが、終るともう自分の国に帰らなきゃいけない。

自分の国に帰ったら、もうボクシングをすることが、できなくなってしまう。

なぜかと言うと、親が、倒れていて、看病しないといけないからである。

そのお金を、手に入れるために、チャンピオンになろうとしている。トーナメント敗退から、5日後再びトレーニングを、していたのである。

スパリングの相手と、やりあっている時、俺は、かなりボコボコにされてしまったのだ。

相手のフックを、鼻に受けてしまって、きを失った。気が付くと、病院で、寝ていた。

治るまで、一ヶ月かかるらしい。

俺は、その一ヶ月の間おとなしくしていた。ケガも治って、トレーニングをしていた。

新しいトレーニングをして、少しずつなれてきて、俺は、調子がよかった。

ある日、スパリングをした。

長い戦いだったが、なんとか、勝つ事ができた。

俺は、嬉しかった。

トーナメントまで、残り三ヶ月になった。

その三ヶ月の間どんな練習をするか悩んでいた。

その時、同じジムのメンバーが、アドバイスをしてくれた。

俺は、いいアドバイスだと思い、その練習をすることにした。

練習をしていて、自分で、強くなっている事を実感した。

何度もスパリングをして、実際の試合みたいにやっていた。

トーナメントまで、一ヶ月しかなくなってしまった。

体を休めて、トーナメントに向けて色んな練習をしていた。

トーナメントまで、近付いて行くと緊張してしまう。

人生で最後のトーナメントなので、かなりプレッシャーに勝たないといけない。

そのために、リラックスして、自分なりに、トーナメントまで、過ごした。

もう明日がトーナメントが始まってしまう。

そして、翌日トーナメントが始まった。

一回戦の相手は、日本人の先週だった。

そして、試合が始まった。

俺は、攻めまくって、すぐに、相手を、倒した。

俺は、勝てた事がとても嬉しかった。

そして二回戦の相手は、イギリスの選手だ。

見ためは、かなり強そうだった。

勝てるか心配だが、やるしかないと思い、俺は、頑張っていた。

5ラウンド目の時、相手に倒されてしまった。

最後の力をふりしぼり、なんとか立つ事ができた。

なるべく相手の攻撃を受けないように、よけながら、攻めた。

最終ラウンドまで、戦った。

判定のすえ、勝てた。

あと少して、負ける所だったが、なんとか勝てた。嬉しかった。

トーナメント三回戦目の相手は、オランダの選手だ。

昨年の優勝者だった。

俺は、勝てる自信がなかった。

でも、頑張って勝つ事ができた。

次は、準決勝である。

かなり強い選手だったか、同じジムのアドバイス通りに戦ったら、苦戦したが、勝てた。

まちにまった決勝戦が始まった。

1ラウンド目で、ダウンをとられてしまった。

しかも、10ラウンド目でまたダウンをとられてしまった。

もう勝てないと思ったが、俺は、相手の顔をなぐり続けた。

そしたら、相手は、倒れて。

K Oで勝ったのだ。

優勝した自分が信じれなかったが、夢では、なく本当に勝っていたのだ。

賞金をもらい自分の国に帰って親の治療のためにお金を使った。

3日後親の病気が、名おった。

俺は、ボクシングをされていて良かったと思った。

もうボクシングをする事は、ないけど、やりのこす事がないので、残った人生は、普通に暮らしていく事を俺は、決めたのである。

(後書き)

フィクション

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1914d/>

---

チャンピオンへの道

2010年11月24日09時08分発行